

## 高齢者施設における結核早期発見のためのチェックリスト

高齢者は、結核のり患率が高く、高齢者施設においては、入所者で結核と診断される事例が報告されています。入所者、職員が安心して過ごせるように、平時から対策をしていくことが大切です。

施設における結核対策のため、下記のチェックリストをぜひご活用ください。

### ○入所者の受け入れ時

- 入所時、今後の健康管理のため情報を確認しましょう。
  - 既往歴（結核、胸部レントゲン検査の時期、結果）
  - 合併症（糖尿病、慢性呼吸器疾患（肺気腫、じん肺他）、慢性肝疾患、慢性腎疾患等）
  - 服薬状況（生物学的製剤、副腎皮質ホルモン剤、抗がん剤、その他の免疫抑制剤）

### ○入所者の健康管理（毎日）

- 高齢者の結核患者には呼吸器症状が見られない場合も多く、日頃から体温、体重、食欲等の健康観察を行いましょう。
  - 下記の健康観察ポイントの症状があれば、速やかに医療機関を促し、胸部レントゲン検査のほか、必要に応じて喀痰検査を受けてもらうよう医療機関に相談しましょう。
- 毎日の健康観察ポイント
- 【全体の印象】  なんとなく元気がない  活気がない
  - 【全身症状】  発熱（微熱）  体重減少  食欲不振  全身の倦怠感
  - 【呼吸器系の症状】  咳  痰（たん）  血痰（けったん）  胸痛  呼吸困難

### ○結核定期健診（入所者・職員）

- 年に1回以上、胸部レントゲン検査を受け、その結果を確認している。
- 施設で受検した結果に限りません。医療として受けた結果や他の健診で受けた結果でもかまいません。
- <参考> 養護、特別養護、軽費老人ホームは、結核定期健診を実施し、保健所に報告する義務があります。
- 要精密者の精密検査を促し、結果を把握している。

### ○職員の健康管理

- 毎年、全職員（常勤・非常勤）が胸部レントゲン検査を受けている。
- 要精密検査と判定された職員に対し、精密検査の受診を促し、結果を把握している。
- 職員に日頃から健康管理に注意するよう、結核を疑う症状があれば速やかに受診するよう促している。
- 入職時に、健康診断（胸部レントゲン検査含む）を実施している。

### ○施設として、平常時からの結核対策の意識づけ

- 結核対策について、施設の感染症委員会で定期的に取り上げている。
- 結核対策について、施設の感染症マニュアルに盛り込んでいる。
- 結核について、施設内研修で定期的に取り上げている。
- 結核早期発見のための施設の体制を本チェック等利用し振り返りができる。

### 健診や健康観察で異常が疑われた場合の対応ポイント

- 協力医療機関、その他医療機関に相談する手順を決めていますか。決めていなければ、主治医、施設医と相談して、あらかじめ手順を決めておきましょう。
- 職員、入所者、家族等含めて、咳エチケットの徹底を図りましょう。
- 咳が続く時には、サージカルマスクを着用してもらいましょう。
- 結核が疑われる場合は、独立換気の個室に移動してもらい、対応する職員はN95マスクを着用しましょう。